

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	長崎県	事業実施主体	長崎県、松浦市	地域再生計画名	体験学習等を活用した松浦地域活性化計画
計画期間	令和2年度～令和8年度	評価責任者	長崎県土木部港湾課長、水産部漁港漁場課長、松浦市水産課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度			指標 達成数	達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	松浦市の観光客数の拡大	993,311人/年	H30	1,011,000人/年	R4	960,948人/年	1,023,000人/年	R8	×	指標 達成数	達成数	中間目標値を50,052人下回っているが、コロナ禍による観光を控えたものと考察する。今後は回復が見込まれるため、引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指すしていく。
	指標2	川棚町の観光客数の増大	467,854人/年	H30	489,000人/年	R4	292,841人/年	500,000人/年	R8	×	5	1	中間目標値を196,159人下回っているが、コロナ禍による観光を控えたものと考察する。今後は回復が見込まれるため、引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指すしていく。
	指標3	松浦から青島への体験受入数の拡大	2,827人/年	H30	2,857人/年	R4	0人/年	2,900人/年	R8	×			新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、体験受入を中止していたため実績は0人である。新型コロナウイルスが5類感染症に移行されたことで、今後は体験学習を再開する予定であり、引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指すしていく。
	指標4	青島加工品の売上額	1,515千円/年	H30	1,722千円/年	R4	7,112千円/年	2,000千円/年	R8	○			中間目標値の4倍以上の数値となっており、目標達成の見込みである。
	指標5	青島の漁獲量	1,535t/年	H30	1,562t/年	R4	340t/年	1,600t/年	R8	×			中間目標値を1,222t下回っているが、コロナ禍による魚価の下落等によって、漁獲量の減少になったと考察する。今後は回復が見込まれるため、引き続き計画に則した整備を行うことで目標達成を目指すしていく。
②事業の進捗状況	事業名			整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度（R4）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	港湾施設（松浦港）（御厨地区）浮桟橋（改良）緑地		1基 3.4ha	0.04基 1.1ha	1基 3.4ha	浮桟橋（改良）：進捗率4%であるが、令和7年度に完了見込みであり、概ね計画通りの事業進捗である。緑地：進捗率34%で、概ね計画通りの事業進捗である。資材及び労務単価の上昇により事業費が増加しているため、コスト削減に引き続き取り組む必要がある。							
	港湾施設（調川港）（調川地区）道路（改良）		2,600m	390m	2,600m	資材及び労務価格の上昇、また交差点部等に著しい老朽化等が確認されたため、一部を半たわみ性舗装で実施する計画としたことから事業費が増加した。これにより進捗率15%と遅れが生じている。よって、計画期間の延長も検討し、計画に即した整備とコスト削減に引き続き取り組む必要がある。							
	港湾施設（川棚港）（百津地区）緑地		5.0ha	2.7ha	5.0ha	進捗率54%であるが、植栽や資材及び労務単価の上昇により事業費が増加したことで進捗に若干の遅れが生じている。コスト削減に引き続き取り組む必要がある。							
	漁港施設（青島漁港）（青島地区）岸壁C（改良）		24m	10m	24m	進捗率44%であるが、浮桟橋の資材単価等の上昇により事業費が増加したことで進捗に遅れが生じている。コスト削減に引き続き取り組む必要がある。							
その他の事業	離島Oごとひとつづくり事業	青島産の水産物をメインに、農水産物の一次加工・高次加工等による高付加価値化に取り組み、経営の多角化・安定化に取り組む	新商品開発やふるさと納税返礼品、イベント関係への出店等により、売上高増に繋がっている。										
	松浦党の里ほんなもん体験	農村漁村文化や自然への理解・興味を促すため、移住旅行や一般の人々との人間関係を築き、社会への貢献や会員層の定着を図っていく取り組み	コロナ禍による受入の中止により、交流人口の拡大には繋がっていない。令和5年度より体験学習の再開を予定しており、今後の事業進捗が図られるものと期待している。										
	かわたな夏祭り	川棚町の観光における魅力発信	コロナ禍でR4年度まで中止されていたが、R5年度から復活することとなった。より川棚町の魅力を発信する取り組みを進める。										
	地域資源を活用した新たな観光地のおもてなし向上事業	川棚町の地域資源である戦時遺構群の家敷である片島魚雷発射試験場後を活用した取組	当遺構は、人気ロックバンド「flumpool」のプロモーションビデオや、映画「祈り」の撮影地及び、「バケモノの子」のモデルにもなっている。また、文化庁の全国ロケーションデータベースにも登録されており、R5は、「インスタ映え」スポットとして、アイドルグループの撮影会が開催されている。										
計画外で独自に実施した事業													
③評価方法	まち・ひと・しごと創生対策懇話会を開催し、評価・検討等を行う予定としている。												
④中間評価の公表方法	長崎県のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、松浦港、青島漁港において、乗降客の安全性の向上や準備作業の軽労化を図る施設、また調川港において、漁獲物の円滑で安全な運搬を確保するため道路の改良、並びに松浦港及び川棚港において、にぎわいを創出し地域の活性化を図るとともに防災用途を兼ね備えた緑地を総合的に整備することにより、水産物の安定供給と体験学習者の安全性向上といった効果を得て、松浦市の水産物の振興と松浦市・川棚町の観光事業の活性化を図ることを目的としている。指標1、2、3、5については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により中間目標値を達成していない状況であるが、新型コロナウイルスが5類感染症に移行されたことで増加を見込んでいることから、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていく必要がある。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況						有りの場合その具体的内容						
	地域再生計画の見直し（ <input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無）						近年の物価上昇に伴い、資機材や労務単価が上がっているため、計画事業を見直す必要がある。						
	令和5年度予算要望額への反映（ <input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無） 有りの場合の増減額						千円						
⑦今後の方針等に対する対応	●資機材や労務単価の上昇に伴う事業費の見直し ・総事業費 現計画事業費1,655,000千円→見直し後1,925,574千円[270,574千円(うち交付金132,668千円)増]												